

作業部会でいただいた主なご意見

1 企業間・産学官連携の推進による新たな付加価値の創出[骨子(案)第4章1]

・環境・社会課題の解決に向けた技術開発・製品開発の重点化等について

- ・脱炭素を新しい価値に転換。我慢のGXではなく、新しい価値を牽引すべき。
- ・世の中が180度変わっても対応できるよう、社内ベンチャーやスタートアップなどを含む本業以外のリソースをもっておくことは重要。
- ・環境に配慮した製品づくりに取り組むが、価値が市場で十分評価されていない。技術開発そのものよりも、その価値をどう販売先に理解してもらうかが重要ではないか。
- ・取引先からの要請がなくても、社会や環境へ、どうインパクトを出すのかを自らデザインして対応していく考え方が必要。
- ・理想の企業を作り出すことが重要。そのためには、集中的支援があってもよいのではないか。また、尖った会社を応援するという視点もあってよいと思う。
- ・戦略として、業界内もしくは業界間の垣根を超えた取組みに支援できるような体制を作るべき。

2 ものづくりを担う人材の育成・確保 [骨子(案)第4章 2]

① ものづくり産業が選ばれる職業とするための方策について

- ・会社ができるのは自社のビジョンを見せること。県は「ものづくりといえば富山県」をブランディングすべき。
- ・現場でも女性が入ってきてくれている。子育て関係の制度を充実させたことに加え、会社は、女性を男性と同様に扱っているということが明記され、周りの人も文化的に認識している状態になると、男性と同じグラウンドで働きたいという層が入ってくる。
- ・家庭を持っている方は難しいと思うが、女性でも3交代ができるような環境を作る。3交代のうちの早出、遅出をするなどという形になればよい。
- ・学生に職場を見せれば来てくれるわけではない、学生に刺さる見せ方が必要。

② 働く方々のウェルビーイングの向上について

- ・経営者が自分の会社の価値や世の中にどういう価値を提供しているかを会社のビジョンとして語れるようになれば、従業員はいい仕事をしていると思えるようになるのではないか。
- ・我々の生活を支えている地味だけどなくてはならない仕事をしている人も、そこにやりがいを見出してウェルビーイングを上げることが大事。

3 その他 [骨子(案)第4章 3、4]

- ・人口が減少する中、海外進出しないと市場が縮小する。
- ・M&Aによって、個社ではできない、新しい化学反応がおき、成長がもたらされることがある。